



国立映画アーカイブ開館記念

# アンコール特集

*Inaugurating NFAJ:  
Back by Popular Demand: From the Programs of 2017*

2018年

5月9日曜、23日曜

6月6日曜、20日曜、22日金—24日回、30日曜

7月1日回、4日曜

10月10日曜、24日曜

11月7日曜、17日金—18日回、21日曜

12月5日曜

\*不定期的開催です。ご注意ください。



国立映画アーカイブ  
National Film Archive of Japan

東京国立近代美術館フィルムセンターは、  
2018年4月1日より国立映画アーカイブとなりました。



国立映画アーカイブ

小ホール[地下1階]

定員=151名(各回入替制・全席自由席)

前売券

4月25日曜10時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各70席分)を販売します。各上映の前日23時59分まで販売。[Pコード:558-431]

前売料金:一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円

- ・別途発券手数料がかかります。
- ・各回の開映後の入場はできません。
- ・学生、シニア(65歳以上)の方は証明できるものをご提示下さい。
- ・チケット購入方法や手数料については、4頁の前売券の購入方法をご覧ください。

当日券(発券=地下1階受付)

料金:一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円、障害者(付添者は原則1名まで)、東京国立近代美術館及び国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

- ◆当日券で入場される方には、開館と同時に、当日上映される全ての回の入場整理券を1階ロビーにて発券します。各日の開館時間については4頁のスケジュール欄をご覧ください。
- ・各回の開映後の入場はできません。
- ・当日券の発券は、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・当日券の発券は各回1名につき1枚のみです。

入場方法

- ①前売券をお持ちの方は、開場時(開映20分前)に、前売券に記載された整理番号順にご入場いただけます。
  - ②その後は、当日券の整理券をお持ちの方が、整理番号順にご入場いただけます。前売券をお持ちの方は、随時ご入場いただけます。
- 前売券・当日券は当日・当該回のみ有効です。

小ホール  
上映作品

## 国立映画アーカイブ開館記念

## アンコール特集

Inaugurating NFAJ:

Back by Popular Demand: From the Programs of 2017

国立映画アーカイブでは、昨年度の上映作品の中から特に多数のお客様にご来場いただいた15プログラム(15作品)をアンコール上映いたします。みなさまのご来場をお待ち申し上げます。

■◎=監督・演出 ◎=製作 ◎=原作・原案  
◎=脚本・脚色 ◎=撮影 ◎=美術・舞台装置  
◎=録音 ◎=音楽 ◎=出演 ◎=声の出演  
◎=解説・ナレーション

■スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。

■特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。

■記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

■「シネールの日曜日」には日本語字幕が付きま。



天空の城ラピュタ



日本暗黒史 情無用

1 5/9(水)4:00pm 11/17(土)1:00pm

## 人魚伝説(109分・35mm・カラー)

▶「映画プロデューサー 佐々木史朗」より

佐々木史朗がディレクターズ・カンパニーの製作に参加した最初の作品。アワビ漁で暮らす新婚夫婦が原子力発電所建設に関わる陰謀に巻き込まれ、夫(江藤)は殺され、妻(白都)はその罪を着せられてしまう。復讐のために彼女がモリを武器として関係者を襲撃する壮絶なクライマックスは、池田敏春監督ならではのもの。

1984(ディレクターズ・カンパニー=ATG)◎池田敏春◎佐々木史朗◎宮谷一彦◎西岡琢也◎前田米造◎小川富美夫◎本多俊之◎白都真理、江藤潤、清水健太郎、神田隆、関弘子、江見俊太郎、榎木兵衛、青木義朗、宮下順子、宮口精二

2 5/23(水)3:30pm 11/17(土)4:00pm

## 天空の城ラピュタ(124分・35mm・カラー)

▶「特集・逝ける映画人を偲んで2015-2016」より

天空に浮かぶ伝説の城・ラピュタをめぐる、少年バズーと少女シータの冒険の物語。篠原征子は、厨房でシータが作業をするシーンなどの原画を担当。二木真希子は、シータが鳩に餌をやる様子を丁寧に描写し、「シークエンス全体を間違いない豊かに」と宮崎監督から評された。保田道世は『風の谷のナウシカ』(1984)から『風立ちぬ』(2013)まで、宮崎映画の色彩設計をすべて担当。

1986(徳間書店)◎◎◎宮崎駿(作画監督)丹内司(原画)金田伊功(上)保田道世(原画)篠原征子、二木真希子◎高橋宏固◎野崎俊郎、山本二三◎久石譲◎田中真弓、横沢啓子、初井言栄、常田富士男、寺田農、永井一郎

3 7/1(日)1:00pm 7/4(水)4:00pm

## 日本暗黒史 情無用(90分・35mm・カラー)

▶「特集・逝ける映画人を偲んで2015-2016」より

同じ工藤栄一監督による『日本暗黒史 血の抗争』(1967)に続くシリーズ第2作。温泉町を舞台に、新旧やくざ組織の対立をハードボイルドに描く。夫婦役を演じる安藤昇と桜町弘子のコミカルなやりとりも見もの。『博奕打ち 総長賭博』(山下耕作監督)と2本立てで公開され、共に当時の若者たちから熱い支持を受けた。

1968(東映京都)◎工藤栄一◎佐治乾、小野竜之助◎古谷伸◎井川徳道◎鍋木創◎安藤昇、桜町弘子、山城新伍、永山一夫、遠藤辰雄、潮健児、佐々木孝丸、加賀邦男、藤岡重慶、渡辺文雄、小池朝雄、安部徹◎黒沢良

4 6/6(水)4:00pm 6/30(土)1:00pm

## 東京の女性(82分・35mm・白黒)

▶「特集・逝ける映画人を偲んで 原節子選集」より

丹羽文雄の同名小説を映画化。生活能力のない父に代わって一家を支えるため、節子(原)は自動車会社のタイピストから“セールスマン”へと転身し、次々と成功を取る。能動的で活潑とし、男性社会を脅かしさえする女性を演じた原節子は、当時の映画評で「東宝入社以来おそらく最も光彩のある演技」と高く評価された。

1939(東宝東京)◎伏水修◎丹羽文雄◎松崎貞志人◎唐澤弘光◎安倍輝明◎服部良一◎原節子、立松晃、江波和子、水上怜子、藤輪欣司、水町庸子、水上怜子、外松良一、鳥羽陽之助、深見泰三、如月寛多

5 6/20(水)4:00pm 6/30(土)4:00pm

## 青春の氣流(87分・35mm・白黒)

▶「特集・逝ける映画人を偲んで 原節子選集」より

新鋭旅客機を設計した若き技師・伊丹(大日方)が、その製造実現に向け突き進む姿を、喫茶店で偶然出会った女性(山根)との恋愛を絡めつつ描くメロドラマ。社内で伊丹を支持する進歩派の専務(進藤)の令嬢に原節子が扮し、伊丹と添い遂げようと積極的にアプローチする姿が目立つ。

1942(東宝)◎伏水修◎南川潤◎黒澤明◎伊藤武夫◎松山宗◎服部良一◎大日方傳、山根壽子、進藤英太郎、原節子、中村彰、藤田進、清川莊司、真木順、英百合子、清川玉枝、御舟京子

6 6/22(金)4:00pm

## 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 若鮎の巻

(100分・16mm・カラー)

▶「京橋映画小劇場No.36ドキュメンタリー作家 羽田澄子 Part 2」より

『歌舞伎役者 片岡仁左衛門』6部作(1992-94)は、十三世片岡仁左衛門(1903-1994)に魅せられた羽田澄子監督が、その芸や芸談を残すため、1987年から仁左衛門が亡くなる1994年までの長期にわたって撮影した作品である。第一作の本作は、上方歌舞伎若手役者の勉強会として1980年から1989年まで年に1度の公演が行われた「若鮎の会」の8回目(1987年)の様子を捉える。「一条大蔵譚」と「楳嶺反魂香(乾支)」の稽古風景から本舞台の上演までが映し出され、半濁音の発音の仕方のような細部にまでわたる仁左衛門の指導ぶりを知ることができる。

1992 企画:仁左衛門の芸談をきく会|製作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清◎栗林豊彦、滝澤修◎片岡仁左衛門、片岡我當、風徳也、風雄三、尾上笹太郎

7 6/22(金)7:00pm

## 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻 上巻(93分・16mm・カラー)

▶「京橋映画小劇場No.36ドキュメンタリー作家 羽田澄子 Part 2」より

「人と芸」は仁左衛門84歳から88歳までの4年間にわたり芸談、舞台、生活を記録したもの。本作は、84歳となる1987年に出演した「伊賀越道中双六」(6月)、「紙子仕立両面鑑」(10月)、「寿曾我対面」(12月)それぞれの上演の様子を中心にまとめられている。「寿曾我対面」は京都南座の顔見世35回連続出演になる記念すべき公演であった。

1992 企画:仁左衛門の芸談をきく会|製作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、瀬川順一、内藤雅行、柳田義和◎滝澤修◎片岡仁左衛門、中村秀太郎、片岡孝夫、片岡我當、實川延若、中村福助、中村富十郎、中村雀右衛門、伊藤友久

8 6/23(土)1:00pm

## 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻 中巻(101分・16mm・カラー)

▶「京橋映画小劇場No.36ドキュメンタリー作家 羽田澄子 Part 2」より

仁左衛門85歳となる1988年が記録されている。前年末の顔見世に続く1月の「寿曾我対面」、2月の「菅原伝授手習鑑」、5月の「妹背山婦女庭訓」の上演の様子が伝えられる一方、23歳のときにまとめた短篇集の話、乗り物好きなこと、片岡家のお盆など舞台以外の仁左衛門を知ることができる。

1992 企画:仁左衛門の芸談をきく会|製作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、瀬川順一、内藤雅行、柳田義和◎滝澤修◎片岡仁左衛門、中村福助、片岡秀太郎、尾上梅幸、市村羽左衛門、秋山加代、中村吉右衛門、中村芝翫、玉木里春

9 6/23(土)4:00pm

## 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻 下巻(110分・16mm・カラー)

▶「京橋映画小劇場No.36ドキュメンタリー作家 羽田澄子 Part 2」より

1988年から1991年の「芸談をきく会」で語られた芸談を中心に、家族インタビューで子供たちから見た仁左衛門の姿や、仁左衛門歌舞伎の立ち上げを回想する夫婦の談話、視力を失い病に倒れながらも演じた南座での「堀川波の鼓」や「菊畑」など、芝居一筋に生きる仁左衛門の姿が多面的に捉えられる。

1992 企画:仁左衛門の芸談をきく会|製作:自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、瀬川順一、内藤雅行、柳田義和◎滝澤修◎片岡仁左衛門、片岡我當、片岡秀太郎、片岡孝夫、片岡静香、片岡喜代子、伊藤友久、尾上梅幸、中村松江、中村富十郎、片岡我重



10 6/24(日)1:00pm

歌舞伎役者 片岡仁左衛門 孫右衛門の巻 (85分・16mm・カラー)

▶「京橋映画小劇場No. 36 ドキュメンタリー作家 羽田澄子 Part 2」より

1989年10月の歌舞伎座「恋飛脚大和往来」の稽古と舞台の様子をふんだんにおさめ、前年の星野源一写真集『風姿 歌舞伎役者・十三代目片岡仁左衛門』出版時に行われた仁左衛門一家のインタビューから、舞台上に打ち込む一家の姿を一気に見せる。

1992 企画：片岡仁左衛門丈の芸談をきく会 | 製作：自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、宗田喜久松◎瀧澤修◎片岡仁左衛門、片岡孝夫、中村雀右衛門、片岡我重、市村吉五郎、片岡我當、片岡秀太郎

11 6/24(日)3:30pm

歌舞伎役者 片岡仁左衛門 登仙の巻 (158分・16mm・カラー)

▶「京橋映画小劇場No. 36 ドキュメンタリー作家 羽田澄子 Part 2」より

6部作の最終作は、仁左衛門の最晩年を捉え続ける。「楼門五三桐」の石川五右衛門や「八陣守護城」の佐藤正清など、90歳にしてなお初役を務める若々しい姿や、長く上演されなかった「鬼一法眼三略巻」三段目・奥庭の場を、諸先輩から受け継いだ芸を残していく責任感と共に上演する姿が映し出される。喜代子夫人をはじめ、仁左衛門を支えた女性たちの存在も印象深い。

1994 企画：仁左衛門丈の芸談をきく会 | 製作：自由工房◎羽田澄子◎工藤充◎西尾清、宗田喜久松、佐藤和人◎滝澤修◎片岡仁左衛門、片岡我當、片岡秀太郎、片岡孝夫、中村篤治郎、尾上梅幸、中村富十郎、市村羽左衛門、中村梅玉、片岡蒼有子、片岡静香、片岡喜代子



歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻 中巻

12 7/1(日)4:00pm 10/10(水)4:00pm

シベールの日曜日 (111分・35mm・白黒)  
CYBELE OU LES DIMANCHES DE VILLE D'AVRAY  
▶「ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント コレクション」より

ベルナル・エジャスリオーの同名小説からの映画化。戦争で心に深い傷を負った若者ピエール(クリューガー)が不幸な境遇にある少女(ゴッジ)と出会う。彼らは無邪気に毎週日曜日と一緒に過ごすようになるが、周囲の人々には二人の関係が異様なものと感じられてしまう。少女が自分の本当の名はシベールだと告げた時、彼らを取り返しのつかない悲劇が襲う。アカデミー外国語映画賞を受賞。

1962(テラ・フィルム=フィデス=オルセー・フィルム=レ・フィルム・トロカデロ)◎セルジュ・ブルギニョン◎ベルナル・エジャスリオー◎アントワヌ・チュダル◎アンリ・ドカメ◎ベルナル・エヴァン◎モーリス・ジャール◎ハーディ・クリューガー、パトリシア・ゴッジ、ニコール・クールセル、ダニエル・イヴェルネル、アンドレ・オウマンスキー

13 10/24(水)4:00pm 12/5(水)4:00pm

狂熱の果て (78分・35mm・白黒)

▶「発掘された映画たち2018」より

ジャズと車と痴戯に明け暮れる「六本木族」の若者たちを待ちうける虚無と退廃を、過剰な演出で描破したもう一つのヌーヴェル・ヴァーグ。倒産後の新東宝作品を配給した大宝の第1回配給作品となったが、同社も1年後には解散。本作がデビューとなった山際永三監督による入念な調査により、原版的受贈とプリント作製が可能になった。

1961(佐川プロ)◎山際永三◎秋本マサミ◎山田健◎岡田公道◎宮沢計次◎林光、萩原秀樹◎星輝美、松原緑郎、藤木孝、奈良あけみ、柏木優子、鳴門洋二、沢村みつ子、利根はる恵、秋本マサミ、中岡慎太郎、大谷にお



歌舞伎役者 片岡仁左衛門 登仙の巻

14 11/7(水)4:00pm 11/18(日)1:00pm

逆噴射家族 (107分・35mm・カラー)

▶「自選シリーズ 現代日本の映画監督6 石井岳龍」より 家族のために念願の一戸建てを手に入れた勝国(小林)。だが彼の父(植木)が舞い込んでくると、家族を守るために勝国がした行動はすべて裏目に出てしまう。石井聰互(現・岳龍)が新たなスタンスで撮った破壊的コメディ。

1984(ディレクターズ・カンパニー=国際放映=ATG)◎石井聰互◎小林よしのり◎神波史男◎田村正毅◎藤原あけみ◎伊藤高志◎細石照美◎1984◎小林克也、倍賞美津子、有園芳記、工藤夕貴、植木等

15 11/18(日)4:00pm 11/21(水)4:00pm

水の中の八月 (118分・35mm・カラー)

▶「自選シリーズ 現代日本の映画監督6 石井岳龍」より 隕石の飛来や“石化病”の流行があった奇妙な夏。真魚(青木)の通う高校に高飛び込みの天才少女・泉(小嶺)が転校してくる。だが競技会の最中に石化病で病院に担ぎ込まれた泉は生死の間を彷徨う…。石井の“インナー SF”への探求が一つの到達をみた作品。

1995(水の中の八月)製作委員会◎石井聰互◎笠松則通◎林田裕至◎小野川浩幸、松尾謙二郎、長尾寛幸、柏木省三◎小嶺麗奈、青木伸輔、宝井誠明、戸田菜穂、天本英世、植崎弥之助、町田町蔵、大須賀真、松尾れい子



シベールの日曜日



水の中の八月

展示室(7階)

### 【企画展】

国立映画アーカイブ開館記念  
没後20年 旅する黒澤明  
槇田寿文ポスター・コレクションより

Inaugurating NFAJ:

Kurosawa Travels around the World  
The Masterworks in Posters from the Collection of Toshifumi Makita

2018年4月17日(火) - 9月23日(日)

\* 月曜日、8月7日(火) - 12日(日)、9月4日(火) - 7日(金)は休業です。

国立映画アーカイブの開館記念企画となる本展覧会では、黒澤明研究者・槇田寿文氏のコレクションから、世界約30か国にわたる黒澤映画のポスター 84点を中心に、海外とのかわりや示す資料も展示し、その卓越した国際性に光を当てます。各国のデザイナーや画家たちの、作品の力感に沿った筆致や大胆で前衛的な解釈とともに《世界言語》としての黒澤映画をぜひ体感してください。

\* 詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。



『蜘蛛巣城』イタリア版[2シート判] (1959年) ポスター：カルラントニオ・ロンジ

### 【常設展】企画展に併設

NFAJコレクションでみる  
日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film  
From the NFAJ Non-film Collection

映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年、国立映画アーカイブ(旧フィルムセンター)が収集してきた多彩なコレクション(ポスター・スチール写真・雑誌・製作資料・業界資料・カメラなど機械類・映画人の遺品・映像など)によってたどりまします。日本映画史の新しい学びの場として、小学生から大人まで幅広い世代の方々を対象とする内容になっています。  
[Captions in Japanese, English, Chinese and Korean]

開室時間 午前11時 - 午後6時30分(入室は午後6時まで)  
料金(常設展・関連企画共通) 一般250円(200円) / 大学生130円(60円) / シニア・高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、東京国立近代美術館及び国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料  
\*( )内は20名以上の団体料金です。  
\* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。  
\* 国立映画アーカイブが主催する上映会をご覧になった方は当日限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。  
\* 5月18日(金)は、「国際博物館の日」(毎年5月18日)を記念して展示を無料でご覧いただけます。

国立映画アーカイブ開館記念 **アンコール特集**  
 Inaugurating NFAJ: Back by Popular Demand: From the Programs of 2017

	月	火	水	木	金	土	日
5月			11:00am開館 1 4:00pm 人魚伝説 (109分)				
			11:00am開館 2 3:30pm 天空の城ラピュタ (124分)				
6月			11:00am開館 4 4:00pm 東京の女性 (82分)				
			11:00am開館 5 4:00pm 青春の氣流 (87分)		11:00am開館 6 4:00pm 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 若帖の巻 (100分)	11:00am開館 8 1:00pm 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻 中巻 (101分)	11:00am開館 10 1:00pm 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 孫右衛門の巻 (85分)
					7 7:00pm 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻 上巻 (93分)	9 4:00pm 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 人と芸の巻 下巻 (110分)	11 3:30pm 歌舞伎役者 片岡仁左衛門 登仙の巻 (158分)
						11:00am開館 4 1:00pm 東京の女性 (82分)	11:00am開館 3 1:00pm 日本暗黒史 情無用 (90分)
7月			11:00am開館 3 4:00pm 日本暗黒史 情無用 (90分)				
			11:00am開館 12 4:00pm シベールの日曜日 (111分)				
10月			11:00am開館 13 4:00pm 狂熱の果て (78分)				
			11:00am開館 14 4:00pm 逆噴射家族 (107分)				
11月						10:00am開館 1 1:00pm 人魚伝説 (109分)	10:00am開館 14 1:00pm 逆噴射家族 (107分)
						2 4:00pm 天空の城ラピュタ (124分)	15 4:00pm 水の中の八月 (118分)
			11:00am開館 15 4:00pm 水の中の八月 (118分)				
12月			11:00am開館 13 4:00pm 狂熱の果て (78分)				

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

**前売券の購入方法**

[Pコード:558-431]

チケットぴあのお店、セブンイレブン、サークルKサンクスで購入  
 ⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円がかかります。

受付電話(0570-02-9999)で購入  
 ⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円がかかります。  
 \*毎週火・水2時30分～5時30分はシステムメンテナンスのため受付休止となります。

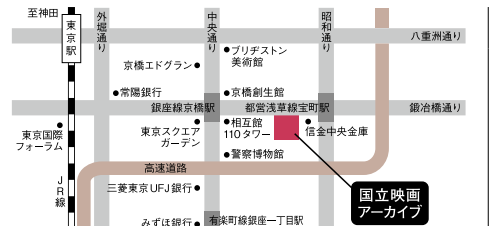
チケットぴあ公式サイト(<http://w.pia.jp/t/nfaj-encore/>)で購入  
 ⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円、また決済方法によって1件につき決済手数料がかかる場合があります。  
 ●手数料等の詳細については、上記チケットぴあのウェブサイトをご覧ください。  
 ●前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

販売期間:4月25日(水)10時から各プログラムの上映の前日23時59分まで

1階受付では、「NFAJニューズレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6  
 ▼交通:  
 東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
 JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600  
 ホームページ: [www.nfaj.go.jp](http://www.nfaj.go.jp)